

# 1、近代国家の成立 3. 立憲国家の成立と日清戦争

板垣退助らは、政府への不満は武力ではなく、言論で訴えるべきであるという考え、政府が国民の意見を聞くように、議会の開設と憲法の制定を求める自由民権運動じゆうみんけんうんどうをはじめました。植木枝盛は民権自由論を発表、大きな影響を与えました。政府は、こうした運動を抑えようとしたが、運動は全国に広がっていきました。

1881年には、北海道開発のための施設の払い下げをきっかけに、政府への批判が集中、政府は10年後に議じゆうとう おおくましのぶ りつけんかい会を開設することを約束しました。その決定を受けて、板垣退助は議会開設に向けて自由党を、大隈重信は立憲改進黨しんとうを作りました。その一方で、1884年、厳しい生活に追い込まれた埼玉県の農民たちが大規模な農民一揆である秩父事件ちちぶしけんを起こしました。

## a. 自由民権運動

① 1874 板垣ら、征韓派参議ら[1 民撰議院設立建白書]提出

②板垣ら土佐グループ…[2 立志社](1874)設立→全国結社をめざし[3 愛国社](1875 大阪) ([4 士族]の民権)

③政府の対応

ア)[5 大阪]会議…大久保・[6 板垣]・[7 木戸]=(a) 民権派の分断をめざす

→[8 漸次立憲政体樹立の詔]を公表=時間をかけて立憲政体への移行をめざす

→元老院(立法諮問機関)、大審院(最高裁判所)、地方官会議(府知事・県令)を設置

イ) 言論弾圧策→1875[9 讒謗律][10 新聞紙条例]

ウ) 地方制度の確立=[11 地方三新]法を制定

公募制の[12 民会](府会・県会)の設置などで民意を一部組み入れる

④ 1877 片岡健吉ら[13 立志社建白]を提出、[14 国会開設]を求める。

→民権家の一部、西南戦争への参加をめざす。



しだいに[15 地主]や都市部の[16 商工業者]の運動への参加(国民運動化)

[17 豪農・豪商]の民権へ

→各地に[18 政社]設立→学習運動の活発化=[19 私擬憲法]作成

⑤ 1880年 各地の政社の代表者→[20 国会期成同盟]結成

→国会開設請願書提出をはかる

政府…[21 集会]条例を制定…民権派の言論・集会・結社を弾圧



⑥ 国会期成同盟の一部→1881 [22 自由]党結成に

⑦ 政府部内の対立の激化

・[23 大隈重信](肥前出身)…(b) 国会議院内閣制の早期導入を主張

・岩倉具視・伊藤ら薩長派…国会開設には消極的



薩摩派の[24 黒田清隆]による[25 開拓使官有物払い下げ]事件発覚→世論政府攻撃活発化

⑧ 1881 明治[26 14]年の政変

・[27 大隈重信]の罷免

- ・[28 **欽定憲法**] 制定の基本方針を示す
- ・[29 **国会開設**] の勅諭→10年後の開設を公約



[30 **伊藤博文**] を中心とする薩長藩閥政権が成立  
→(c) 君主権の強い立憲体制樹立 への準備を活発化

⑨憲法制定・国会開設に向けた民間の動き

[31 **憲法私案**] の作成・・・[32 **交詢社**] (福沢諭吉系)・[33 **植木枝盛**] (自由党)  
→ 日本全国で大学習運動・論戦の展開→各地で憲法草案を作成

⑩政党の結成

- ア) [34 **自由**] 党(総理[35 **板垣退助**]) = 土佐派中心に結成(1881)  
…地方の[36 **地主**] が基盤、フランス的[37 **急進自由**] 主義をとる
- イ) [38 **立憲改進黨**] 党(総理[39 **大隈重信**])  
…都市の実業家・知識層が基盤、イギリス風の[40 **議院内閣**] 政治を主張
- ウ) 立憲帝政党 = 福地源一郎ら 政府支持の保守政党

## b. 松方財政

①明治 10 年代初頭の経済 = [41 **インフレーション**] の激化

←[42 **西南戦争**] の戦費の支出・国立銀行法の改正 = 大量の[43 **不換紙幣**] (西郷符) 発行



税金の[44 **実質減**] = 財政困難・[45 **正貨(金・銀)保有**] の払底  
→(d) 財政再建・紙幣の整理 の必要に迫られる

② 1881 大蔵卿に[46 **松方正義**] 就任→松方[47 **デフレ**] 財政の展開

→[48 **超緊縮**] 財政をとる→[49 **不換**] 紙幣の処分、余った金の蓄積

- ア) 歳入増 = 大幅な[50 **増税**] …[51 **酒造**] 税や煙草税など[52 **間接**] 税を増やす
- イ) 歳入削減 = [53 **官営工場の払い下げ**] をすすめる(1880 ~)
- ウ) 他方で[54 **軍事費**] を増やす

③ 1882 [55 **日本**] 銀行の設立

→銀行券発行権を国立銀行から取り上げ、[56 **銀兌換紙幣**] を発行  
([57 **銀**] 本位制度の実施)

④(e) 国民生活 の破壊

- ・物価の[58 **下落**] = 米・[59 **繭**] など農作物の急速な 60 値下がり
- ・間接税の増税と貨幣価値下落による(f) 実質増税 のダブルパンチ



自作農らの(g) 経営破綻 → [61 **借金**] の増加・土地売却・競売→[62 **小作農民**] 化  
→都市 63 無産市民 化

⑤貧農らの(h) 政治への不満 の高まり→「[64 **農民の民権**]」へ

[65 **士族**] の没落決定的に

⑥有力農民たち→66 農業経営への興味を失い、値下がりがした土地を[67 **集積**] = 地主化進む



[68 **寄生**] 地主の登場 (i) 自らは農業をあまり経営せず土地を貸して高額小作料を得る地主  
→[69 **貸し金**] 業や[70 **酒造**] 業など他の業種へ